



本田技研工業株式会社 取締役
安全運転普及本部 本部長

曾田 浩

日頃はHondaの安全運転普及活動に多大なるご理解、ご支援を賜り、誠にありがとうございます。おかげさまで今年もさまざまな分野で安全運転普及活動を展開することができました。この場をお借りし、改めまして御礼申し上げます。

さて、本年の交通事故死者数は毎月前年を下回り（9月現在）、第8次交通安全基本5ヵ年計画の「2012年までに死者数を5,500人以下」という目標に対し大変順調に推移しております。これは行政、関係諸団体はもとより、交通社会に参加する1人ひとりの努力の成果であり大変喜ばしいことと思います。しかし、今後さらに高い政府目標である「事故のない道路交通において世界一安全な国」の実現に向けては、これまでも増して高齢者、自転車の事故対策などの重点課題に官民一体、地域一体となって取り組む必要があると認識しております。

これまで、Hondaは人に焦点を当てた「手渡しの安全」という考えから、四輪・二輪・汎用製品の販売会社による啓発活動や全国8ヵ所の交通教育センターにおける参加体験型の実践教育活動を中心に展開してまいりました。また交通安全教育を生涯教育の1つとしてとらえ、子どもや高齢者向けの教材開発、教育の実践にも取り組んでまいりました。

今年はこれらに加え、「地域に根ざした活動の充実」に向けて新たな活動をスタートさせました。まずは、私どもの熊本製作所内に「安全運転普及グループ」を設け、趣旨に賛同いただいた関連企業様にも安全運転指導者を育成していただき、熊本を中心とした九州エリアで、地域と連携をしながら学校での交通安全教室や啓発イベントなどの活動を展開してまいりました。

また、私どもと志を同じくする各地の指定自動車教習所様と連携し、Hondaの交通安全教育ノウハウやシミュレーターなどもご活用いただき、「地域の交通教育センター」として地域における交通安全活動を一層広めていく取り組みも始めました。

地域の皆様と一体となって地域の実情に応じた交通安全活動を継続的に行うことにより、より安全意識の高い交通参加者が育ち、活動の定着が図れるものと確信しております。いずれも緒についたばかりですが、今後は販売店店頭での活動の充実と併せ、さらに展開を拡大する予定です。

私どもはこれらさまざまな活動を通じ、多くの方々に安全を手渡しすることで「より豊かなモビリティ社会の実現」に向け、一層努力してまいりたいと思います。

最後に、皆様のますますのご健勝とご発展を祈念申し上げますと共に、私たちの活動への変わらぬご理解、ご協力の程お願い申し上げます。